



[TOP](#) > [妊娠・出産のトラブル](#) > [赤ちゃんのトラブル](#)

赤ちゃんのトラブル

生まれたばかりの赤ちゃんは免疫力が弱く、体のづくりも未熟なため、様々な病気にかかりやすいです。

また、生まれるまでの過程においても病気を発症することがあります。

ここでは、赤ちゃんに起きる、**重症化すると危険な症状や、脳性まひにつながる可能性のある病気を中心に紹介**します。

頭血腫

どんな病気？

頭血腫（ずけっしゅ）は、頭蓋骨の骨膜下におこる出血で、100人に1～2人の頻度で起こるといわれています。赤ちゃんの側頭部にできやすく、血液が溜まって瘤（こぶ）のようになったものです。生まれてすぐは目立たないことが多く、半日から数日経って膨らんでくることがわかります。

骨の外側とその表面の骨膜の間で出血するので、大出血には至りませんが、高ビリルビン血症（血液中に、出血した時に増えるビリルビンという成分が多くなる状態）を起こして、黄疸（黄疸のページにリンク）を増強させるリスクがあります。

なぜ起きるの？

赤ちゃんが産道を通る時に頭が引っ張られたり、外から受けた圧力によって起こります。

どんな治療をするの？

生後1週間頃から自然吸収が始まり、数週間から数ヶ月で消滅します。そのため、治療が必要となることはほとんどないといわれています。

新生児仮死 >

新生児低酸素性
虚血性脳症 >

胎児機能不全
NRFS:Non Reassuring Fetal Status >

胎児発育不全
FGR:Fetal Growth Restriction >

帽状腱膜下血腫 >

頭血腫 >

胎便吸引症候群 >

新生児黄疸 >

低出生体重児 >

新生児ヘルペス >

新生児呼吸窘迫
症候群 >

新生児低血糖症 >

未熟児無呼吸発作 >



弁護士法人宮永愛法律事務所
〒569-0803 大阪府高槻市高槻町11番20号
第2領家ビル401号
tel.072-682-6233

- > 挨拶・弁護士紹介
- > 事務所概要
- > 医療顧問
- 産科医療補償制度とは
- 原因分析報告書とは
- 脳性まひとは
- 妊娠・出産のトラブル

- > 費用
- > Q & A
- 解決事例
- 判例
- コラム

- プライバシーポリシー

相談のお申し込み



Copyright © SANKAIRYO LABO